

杉戸町環境センター



杉戸町



杉戸町マスコットキャラクター

「すぎぴょん」

1. 杉戸町環境センター施設について

(1) 施設概要

施設構成：管理棟・工場棟・車庫棟・洗車場棟・計量棟・可燃性粗大ごみ切断棟

敷地面積：10,642.53 m²

のべゆか
延床面積：3,644.93 m²

建築面積：2,113.23 m²

構 造：鉄筋コンクリート、地下 1 階・地上 3 階 煙突の高さ 59m

処理方式：流動床式焼却炉（砂を使った焼却方法）
りゅうどうしょう

処理能力：84 t / 日（42 t / 16h × 2 炉）

(2) 施設建設費

○施設建設工事（着工：平成 6 年 7 月～竣工：平成 9 年 2 月）

※工事費 約 38 億 5, 000 万円

○施設改造工事（着工：平成 1 2 年 9 月～竣工：平成 1 3 年 1 2 月）

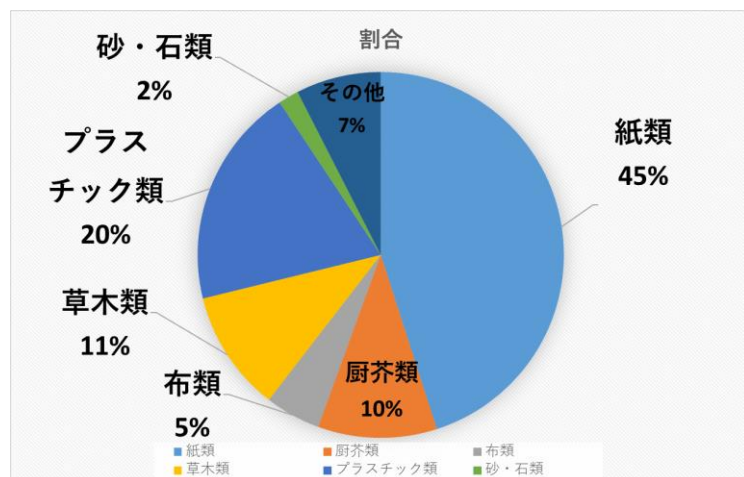
※工事費 約 7 億 4, 500 万円

(3) 維持管理費

運転経費 約 6 億 3,200 万円（令和 4 年度決算額）

2. 杉戸町環境センターでのごみ処理？

(1) 主なごみの内訳（可燃ごみ）



(2) 可燃ごみの搬入量

	搬入量	割 合
杉戸町	9,655.87 トン	47.7%
幸手市	10,583.39 トン	52.3%
合 計	20,239.26 トン	100%

※令和 4 年度実績



令和 4 年度平年値

(3) ごみの搬入・焼却時間

○搬入時間

月曜日～金曜日	午前 9 時～正午、午後 1 時～午後 4 時
土曜日	午前 9 時～正午まで

○焼却時間

月曜日～金曜日	午前 8 時 30 分～午前 0 時 30 分（16 時間）
---------	--------------------------------

※年末年始など一時的にごみの量が増加するときには、土曜日に臨時焼却を行ったり、焼却設備の点検整備を行う時期は 1 炉での運転となるため、24 時間運転を実施

(4) 環境センター運転管理

○15 人体制（責任者 1 名、日勤者 3 名、計量員 1 名、技術員 2 班×5 名）

○1 日当たりの焼却量 81.8 トン（283 日操業） ※令和 4 年度実績

(5) 焼却灰等の処分

	杉戸町		幸手市
ばいじん（灰）	福島県小野町 ※	秋田県小坂町 ※	市内最終処分場
焼却灰（不燃物・鉄分）	福島県小野町 ※	栃木県小山市 ※☆	福島県小野町

※民間処分場

☆人工骨材としてリサイクル

運搬について…ばいじん（灰）に水と薬剤を添加し、セメントで固形化したものを運搬



①不燃物



②鉄分



③ばいじん



④固化灰



薬剤等で固型化したもの

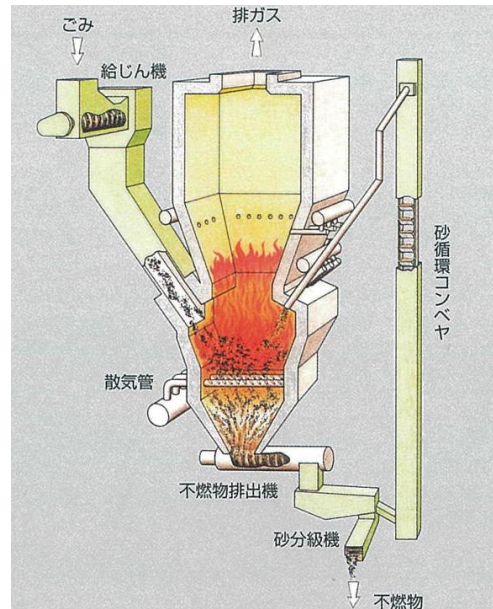
3. 施設の特徴

(1) 流動床式焼却炉

砂を高温に熱し、その砂をごみと共に混同して焼却する方式。燃烧性能が優れているので、未燃物が排出されない。埋立て処理を衛生的に行える。



◎焼却炉の中に実際に投入している砂



◎焼却温度は約850℃～900℃！

(2) 余熱利用

ごみを焼却した際に発生した熱は、施設内の給湯や暖房に利用する他、隣接している「ふれあいセンターエコ・スポいずみ」へ温水を供給している。

(3) 処理の完全クローズドシステム

施設内で発生する雑排水等は、冷却水として再利用し施設外には放流をしない。また、「ふれあいセンターエコ・スポいずみ」からの雑排水等も、施設の冷却水として利用。

(4) ごみの悪臭防止

プラットホームの出入口、ごみピットの投入口には扉が設けられており、臭気の拡散が防止している。ごみピットから発生する臭気は燃烧用空気として炉内に送られ、熱分解処理される。

環境センターは可燃ごみを焼却する施設のため、可燃ごみ以外のごみが入っていると、有害物質の発生や焼却設備の故障になるおそれがあります。

今後のごみを出す際は、収集日を守り、ごみの分別を徹底するなどルールを守るようお願いします。

また、家からでるごみを減らす工夫をして、リサイクルに心がけましょう。



燃え残った金属ごみ

すぎぴよんのプロフィール

氏名：すぎぴよん

生年月日：平成22年11月3日

特徴：明るく、きらきらした大きな目と
ふわふわした羽根がポイント

